

# 映画・メディア芸術に関する会合

## Film and Media-Arts Conference

主催：文化庁 協力：(独)東京国立近代美術館フィルムセンター



# 映画・メディア芸術に関する会合

日時 平成16年5月21日(金) 15:00~19:15

会場 (独)東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

主催 文化庁

協力 (独)東京国立近代美術館フィルムセンター

■ 開会 (15:00) 河合隼雄 文化庁長官挨拶

■ 第1部 | 施策説明会 (15:05~15:50)

[1] 文化庁

[2] 知的財産戦略推進事務局

[3] 経済産業省

[4] 文部科学省(高等教育局、科学技術・学術政策局等)

[5] (財)CGアーツ協会

[6] 質疑応答

## Film and Media-Arts

### パネルディスカッション出席者プロフィール

コーディネーター(敬称略)

浜野 保樹

はまの やすき

東京大学大学院  
新領域創成科学研究科 教授

国際基督教大学教養学部卒業。1980年国際基督教大学大学院博士後期課程単位取得退学。新潟大学教育学部、メディア教育開発センター、東京大学大学院新領域創成科学研究科助教を経て、2004年度より同研究科教授。東京大学工学博士。専門はメディア論。昨年度文化庁メディア芸術運営委員。

パネリスト(以下五十音順、敬称略)

金子 満

かねこ みつる

東京工科大学 メディア学部  
メディア学科 教授

慶應義塾大学法学部、東京工業大学大学院後期博士課程修了。フジテレビから、南カリフォルニア大学シネマス쿨を経て、東京でJCGL、ロサンゼルスでメトロライトスタジオを創設。芸術祭優秀賞、文化庁優秀番組賞(アニメ「子鹿物語」)、アカデミー特別視覚効果賞(「トータルリコール」メトロライトスタジオ)、エミー賞(「ABCワールド」メトロライトスタジオ)、総務省団体表彰(クリエイティブラボ)など多数の賞を受賞。

関口 敦仁

せきぐち あつひと

情報科学芸術大学院大学  
メディア表現研究科 研究科長

東京芸術大学大学院修士課程修了。日・仏において作品制作活動を行い、数多くの展覧会を開催する。1999年の情報科学芸術大学院大学の創設に伴い、同大学院メディア表現学科の教授に就任。2003年度より退職。専門は、古典芸術及び遺跡等のメディアアーカイブの研究、VRメディアを利用した視覚造形認知の研究。また美術作家としてインスタレーションを中心とした発表など。

竹宮 恵子

たけみや けいこ

京都精華大学 芸術学部  
マンガ学科 教授

徳島大学教育学部に入学した1968年に集英社「マーガレット」増刊号にてプロデビューし、虫プロ「GOM」月例新人賞を受賞。以後プロの漫画家活動を開始し、徳島大学を中退。1980年3月「地球へ…」「馬と木の詩」で小学館マンガ賞受賞。2000年度より京都精華大学芸術学部マンガ学科ストーリーマンガ分野教授に就任し、現在に至る。

## ■ 第2部 | パネルディスカッション (16:00~17:30)

### 映画・メディア芸術教育の現在・未来

- ①大学における人材育成に向けた取組とその課題について
- ②人材育成という観点から、製作現場との連携を図るための取組・工夫について

#### コーディネーター(敬称略)

浜野 保樹(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

#### パネリスト(以下五十音順、敬称略)

金子 満(東京工科大学 メディア学部 メディア学科 教授)

関口 敦仁(情報科学芸術大学院大学 メディア表現研究科 研究科長)

竹宮 恵子(京都精華大学 芸術学部 マンガ学科 教授)

宮澤 誠一(日本大学 芸術学部 映画学科 教授)

## ■ 第3部 | 懇親会 (17:45~19:15)

会場:フィルムセンター1階ロビー

# Conference

宮澤 誠一 みわざわ せいいち  
日本大学 芸術学部 映画学科 教授

日本大学芸術学部映画学科卒業。  
日本大学芸術学部助手・専任講師、  
助教授を経て、平成6年4月から現職。  
『夏の別れ』(1981年)を初めとして、  
『哭きの竜』(1995年)等数多くの  
映画の編集等を担当。映画監督・製  
作・編集を行っているが、特に創作  
が中心である。創作領域は、広範囲  
にわたり、デジタルシネマの製作に  
も取り組んでいる。日本映画・テレ  
ビ編集協会副理事長、東京国立近  
代美術館フィルムセンター映画製  
作家養成講座実行委員、文化庁映  
画振興に関する懇談会委員等を歴任。





## これからの映画・メディア芸術教育を考える

映画をはじめとするメディア芸術は、海外への自国の文化発信の有効な媒体であるとともに、生活に潤いと豊かさをもたらす総合芸術として、世界的にも大きく注目されています。

このため、政府においても様々な観点からその振興を図る取組を行っているところですが、その中でも、次代を切り拓く人材を養成することこそが最も重要であることは言うまでもありません。映画・メディア芸術は、諸芸術の粋を集め、強固な理論のもとで創出されるものであり、また、従来の学問分野を超えた複合・融合的な性格を強く有しています。こうした映画・メディア芸術を振興していくためには、大学等の教育研究機関が果たす役割は非常に大きいものです。大学等がこれからの映画・メディア芸術教育の担い手として、また、行政のアドバイザーとしてその力を存分に発揮するためにも、大学等と行政とが今後どのように連携すべきか、改めて考える時ではないでしょうか。

この会合が相互理解を進め、今後の映画・メディア芸術の振興の布石となれば幸いです。

### 文化庁文化部芸術文化課

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

電話 03(5253)4111(内線2828) 03(6734)2826(直通)

FAX 03(6734)3814 E-mail kichou@bunka.go.jp